

塩川正十郎氏死去

93歳 小泉内閣で財務相



小泉内閣発足時から財務相を務め、「塩爺」(しおじい)の愛称で親しまれた元自民党衆院議員、塩川正十郎(しおかわ・

1944年慶応大卒。

大阪府布施市(現東大阪市)助役を経て67年の衆院選で初当選し、衆院当選11回。宇野内閣の官房長官や自民党総務会長などを歴任した。財務相時代はひょうひょうとした関西弁で「母屋でおかゆをすすっている時に、離れすぎ焼きを食べている」などと特別会計改革を訴えて話題になった。2003年に政界引退後は東洋大総長や関西棋

院理事長を務める一方、テレビ番組などで政治・時事評論をした。

敵つくくらぬパイプ役

塩川正十郎氏死去 庶民感覚忘れず

【評伝】

首相候補には名前が出てこないが、いざ何となく寂しい。政界にはそんな存在がときどきいる。「塩爺」(しおじい)もそのひとりだ。(1面参照)

安倍晋三首相の父、晋太郎氏(元自民党幹事長

を支える「四天王」に数えられたが、三塚博氏ら他の3人のようにながらついたりしたところはない。1989年には宇野宗佑首相のもとで官房長官に就いた。派閥は違うのに、敵をつくらぬ人柄を見込まれての異例の人事だった。宇野内閣はわ

ずか2カ月で倒れ、内閣ごとに発刊される「国会便覧」が出すまいに終わった。退陣後に出版社に掛け合っただけの号を限定でつくらせると、短命閣僚たちの慰労会を開いてお土産にもたせた。こうした気配りで派閥抗争が激しかった時期に

も、他派とのパイプ役として活躍した。地価税導入の是非が焦点となった90年末の税制改正では自民党税制調査会長としてまさしく調整役を担った。その頃、取材に行くと「日経は税で失敗できんやろ」と詳しく教えてくれるのだが、翌日になると前言撤回のことが多かった。体よく観測気球役に使われていたのだが、「悪いな。あのあと大蔵省のやつらが来よって、

「心から冥福祈る」

塩川氏死去で首相 安倍晋三首相は19日、塩川正十郎元財務相の死去について「あれほど財政の重要性について、わかりやすく話をされた財務相はいなかった。心から冥福を祈りたい」と語った。

(編集委員 大石格)